

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長野県	事業実施主体	長野県、長野市、信濃町、飯綱町	地域再生計画名	地域の至宝「農業と観光」を生かした北しなの道整備計画
計画期間	H29～R3	評価責任者	長野地域振興局農地整備課長、長野市森林整備課長、信濃町産業観光課長、飯綱町産業観光課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	新規就農者数（長野市）	118人	H23～H27累計	H29～R1	90人	R1	130人	H29～R3	150人	R3	○	平成23年から平成29年度まで市単独の新規就農者支援事業を実施。平成30年度からは親元就農支援事業を実施するとともに、農道整備により交通安全の向上、農産物輸送の効率化等が図られ、相乗効果が出て中間目標値を上回る新規就農者の増加が図られた。 観光案内所がリニューアルされたことに加え、外国人観光案内所の併設や、農道整備により信州中野インター方面からのアクセス向上により、利用者数が増加し中間目標値を上回った。 広域農道と町道整備により道路ネットワークが進み、安心・安全な人の往来が確保され、目標どおり廃校等を活用した施設整備が進められ、地域活性化が図られた。	
	指標2	観光案内所利用客数の増加（信濃町）	5500人	H26	5750人	R1	6127人	6000人	R3	R3	○	3		3
	指標3	小さな拠点の形成（飯綱町）	0箇所	H29	1箇所	R1	1箇所	2箇所	R3	R3	○			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（R1）	最終実績見込み									
特別措置を適用して行う事業	町道		6.349km	2.323km	6.199km	計画に対し、路線延長から見る進捗率は37%である。進捗状況の遅れにより効果発現が遅れていることから、早期の効果発現が可能な路線を優先に事業実施する。なお、用地取得困難な区間は整備延長から控除するよう軽微変更手続きを行う。								
	農道		8.594km	3.993km	8.594km	計画に対し、路線延長から見る進捗率は46%である。残区間は工事実施が容易な区間のため、引き続き計画に則した整備を目指していく。なお、部分補修を計画していた区間において路面損傷が進行している箇所は全面補修へ工法を変更し、不足する事業費は増額するよう軽微変更手続きを行う。								
その他の事業	プレミアムりんごオーナー制度（飯綱町）	りんごオーナー制度により「農業と観光」の持続的発展及び地域活性化を図る	地域の主要農産物であるリンゴの木のオーナーを募り、直接生産地を訪れ豊かな自然や新鮮な農産物を満喫するとともに農業体験を行うことにより、農業と観光を結びつけた地域振興を図った。											
	豊野いいとこマップ事業（長野市）	地域資源を紹介するマップを作成・発信し、観光振興や地域活力あるまちづくりを推進する	豊野地域の自然、歴史、文化、産業、公園、観光施設等を紹介するとともに、魅力ある観光資源を掘り出し、地域内外へ発信する「とよのいいとこマップ」を作成し、観光振興と地域活力あるまちづくりの推進を図った。											
計画外で独自に実施した事業	親元就農支援事業（長野市）	45歳未満の親元就農者へ支援	平成29年度まで行っていた新規就農者支援事業に代わり、平成30年度から親元就農支援事業を実施。これにより地域農業の中心となる担い手を育成するため、親の元気な時期から親とともに経営を担い、徐々に経営を継承する流れの確立を図った。											
	農業機械化補助金（長野市）	農作業の省力化、生産性の向上	農業機械の購入に対して補助を行い、新規就農者の支援や地域リーダーの育成、農業の持続的発展の推進を図った。											
	来場者アンケート（信濃町）	どこから来町されたのか調査実施	道の駅で行っている来場者アンケート調査の結果分析を基に、町の旬な情報の発信等を来訪者の多い地域へ重点的に発信し、来町される方の増加に取り組んだ。											
	外国人観光案内所併設（信濃町）	政府観光局認定取得	政府観光局から外国人観光案内所の認定を取得し、国内の観光客にとどまらず、四季に亘り、海外から来町される方の増加を図った。											
③評価方法	中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況等に関する評価・検討等を行った。													
④中間評価の公表方法	長野県、長野市、信濃町、飯綱町のホームページに掲載予定													
⑤計画全体の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域再生計画では、町道と広域農道整備の一体的な地域の道のネットワークを整備し、交通安全の向上を。また、農産物輸送や観光・一般交通の効率化を通じて、新規就農者や観光客の増を。さらに、小さな拠点の形成による地域再生を図ることを、それぞれ目標としている。 ・現在の広域農道は農業振興のみならず、地域の社会・経済の発展にも貢献しており、令和元年の台風19号災害時には、不通となった国道18号線の迂回路とし、地域の社会生活・経済流通・災害復旧等に活用され、地域にとって不可欠な道路となっている。 ・中間目標については、各指標とも目標値を達成している。 ・事業進捗は若干遅れぎみではあるが、予算割当さえあれば十分計画期間内に事業完了が見込める。 ・今後も最終目標値の達成のために、各種取組みを継続して進め、地域再生計画の達成に向け、本事業を推進することが必要。 													
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無）					町道豊井線において、用地取得困難箇所があるため、計画延長をL=0.15km減工する軽微変更を行う。 広域農道の整備区間において、部分補修を計画していた箇所の路面損傷が進行しているため、全面補修へ工法を変更したい。については事業費が不足するため軽微変更手続きを行う。								
	令和3年度交付金要望額への反映（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無） 有りの場合の増減額 農道20,000千円の増					広域農道の工法変更に伴い、事業費を40,000千円増額する軽微変更手続きを行いたい。								
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町道、農道に係わる地域再生計画の軽微変更を予定 ●町道の事業量の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・整備延長 L=0.15kmの減 ●広域農道の事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 現計画900,000千円→見直し後940,000千円 [40,000千円（うち交付金20,000千円）増] ●地域再生計画 総事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・認定時1,515,000千円→見直し後1,555,000千円 [40,000千円増] 													